

### 1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2893000261		
法人名	株式会社ほのぼの		
事業所名	グループホームほのぼの		
所在地	兵庫県尼崎市神田南通2-50		
自己評価作成日	令和5年7月5日	評価結果市町村受理日	令和5年9月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

敷地内に広い庭があるので行事やレクリエーション企画し気分転換を図ったり、外出ができるようになったので月1回ペースくらいで外食ができるよう企画を立てています。また、電車や車を使っての外出も積極的に取り組み入居者様の希望を聞ける環境を整えていけるよう取組み中です。そういったことをSNSで発信することでご家族様からも反響があり喜んでいただけてます

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブナルク兵庫福祉調査センター		
所在地	尼崎市南武庫之荘2丁目27-19		
訪問調査日	令和5年8月7日		

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年12月に2階ユニットで、コロナ感染のクラスターが発生したが、重症者を出すことなく全員軽症で短期間で収束を迎えることが出来た。この経験から、5類移行となった現在も職員や面会者の検温と消毒を実施、事業所内の定期的消毒など感染対策の徹底を図っている。コロナ禍の為、難しかった対面による運営推進会議の開催も可能となり、出席メンバーからの貴重な意見を運営に反映させている。外出が可能となったことで、便利な場所に立地している事業所の特性を生かして、食材の購入や外食の再開など、コロナ以前の状態に戻つつある生活は、利用者から喜ばれている。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念の頭に住み慣れた街と入れることで地域密着を意識している。玄関や各フロアに掲げることで共有し実践に向けて取り組めるよう毎月の会議で話し合いを行っています	事業所理念「住みなれた街尼崎で活気ある毎日を。誠心誠意安心できる場を作ります」を共有して、利用者や家族に寄り添った考え方で支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外周掃除をする際など近所の方と挨拶を行っています。買い物に商店街に行くとき挨拶をして下さったり声をかけて下さることもあります	事業所回りの掃除や商店街への買い物等で地域と交流している。だんじりの訪問を受け、利用者に喜ばれた。今後積極的に地域の行事に参加していくとしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議への参加の要請、報告。町内会に参加し交流を今後は持てるよう取り組みます		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況報告はもちろんのこと、ケアの内容、改善、今後の対応を報告している。それにより理解、協力、信頼を深めている。	家族・協力医療機関・調剤薬局、歯科医院、地域包括支援センター職員の参加の下、6月より対面で実施している。議事録は全家族とメンバーに送付している。地域住民の参加がないので、時間や日程を調整し町会や民生委員にも参加を呼び掛けていくとしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	3ヶ月に1回グループホーム連絡会にて市担当者との意見交換を行っている。必要に応じて市担当者に相談を行っていたが現在はストップしている。市からくるメールを逐一確認。不明点は電話で確認	市とは主にコロナ関係の情報をメールにてもらっている。以前はグループホーム連絡会に参加の市の担当者と意見交換をしていたが、現在、連絡会が中止となっているので、その機会がない。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人で虐待防止委員会を発足。その内容を毎月の全体会議で伝えディスカッション。運営推進会議でも内容を周知し常に意識してケアが行えるよう徹底しています	虐待防止委員会は各事業所より1、又は2名の参加で月1回の開催されている。現在はスピーチロックについての話が主となっている。コロナ禍で外出ができない日々が続いていたが、できる限り外出を可能にという事で現在外出制限をしていない。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議等で日々ケアの中で虐待はないか確認しあうことで防止に努めています	職員全体会議で虐待防止委員会の内容について共有している。日々のケアの中ではスピーチロック防止に特に注意するよう発信している。	

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	新人職員に利用者の権利擁護に対する研修を行っている。利用者の中でも成年後見人制度を利用している方がいるのでその役割や意味について理解できている	現在、成年後見制度を利用されている方は4名おられる。うち1名は入居してから制度利用が検討され、利用につながった方である。職員は勉強会等で制度について学ぶ機会があり理解できている。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約時には必ずわかりやすく説明し、質問、疑問はその場で解決するよう努めている。改正があった場合は運営推進会議で説明を行い文書でも説明を行いそれに対する問い合わせにも十分な説明を行っている	入居時、契約時には疑問にわかりやすく説明するようにしている。本人・家族からは外出や外泊・面会の制限についての質問が多い。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に電話にて現状報告おこなっております。面会時にも話が聞けるようにしております	面会はコロナ以前の状況に戻しており面会制限がないので、家族より意見や要望を聞く機会が増えている。運営推進会議の議事録を家族に送付し、アンケートとともに意見や要望を聞くようにしている。家族からは、引き続き機能訓練の充実を図ってほしいとの要望があった。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全職員が意見を述べられる会議の場を作っている。また、職員の得意分野を引き出し役割を持たせ管理者と1対1での話し合いができる環境を年2回行えるよう整えている。	月1回の全体会議や年に2回、1対1での面談を行っている。業務に関して申し送りの徹底に関する意見があった。	代表者は、管理者が現在2カ所のGHの兼務状況にあることを直視し、早急に対処することを強く求めます。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は定期的に職員と面談を行っている。代表者は管理者と密に連絡を取ることで実績勤務を把握している。給与に関しては勤務年数、資格にとらわれず能力、努力によって査定している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の勉強会を開催し職員の技術、知識の向上を図っている。また、業務の中でも職員指導にあたっている。新人職員に対しては3ヶ月間トレーニングノートを使って教育しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に加入し、討論会、勉強会、交換研修に参加しネットワークづくりを行っている。また、法人内で交換研修をおこなうことで質の向上を図っている。現在はコロナ禍により連絡会はストップしている。		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	各利用者に担当を付けることでその方を知り安心できる環境に努める。また利用者のADL、特徴等まとめた書類を作成し職員がその方を知ることにも努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者の状況変化があればすぐに家族様へお伝えしている。また、また他の職員であっても申し送りの徹底を行い、周知できるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族に聞き取りを行い、専門的視野でアドバイスを行い、必要に応じたサービスを提供している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者にはADLに合わせ掃除、洗濯、食事準備を職員と行き、暮らしをともにする関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の状況変化があればすぐに家族様へお伝えしている。また、申し送りの徹底を行いどの職員に聞いても分かる環境を作っている		
20	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の知人、友人等の来訪には来所して頂き在宅時と変わらぬ関係を続けていけるよう努めています	馴染みの方の面会や馴染みの場所への外出を進めている。面会は、感染が拡大している時期を除いて、コロナ前の状態になっている。友人、知人の面会が再開され、居室での面会が可能になっている。馴染みの場所へ家族やスタッフと買い物や食事に出かけたり、自宅に帰られる方もおられる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人、一人の性格、関係性を把握しそれを元に座席やレクリエーションのメニュー等細かい部あ分まで配慮している		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方であっても地域住民の一員であることを理解しイベントの参加を促している。また相談や支援等フォローに努めています		
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の日誌を参考に職員やケアマネが利用者様の要望を聞き取り、取り組めるようにしている。本人の希望が聞けなく困難な場合は会議やカンファレンスを行い本人の意向に添える対策を検討している	声かけや尋ね方を工夫して、その方の表情や言葉から思いや希望を把握するように努めている。家族の意見や入居前の状況からも思いを把握することに務めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前にきちんと情報収集を行いその情報を職員全員がきちんと理解して安心して過ごして頂く環境を整えている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	起床時には必ずバイタル測定を行い変化があった際には訪問看護事業所と相談し迅速な対応を行い申し送りも徹底している。		
26	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の状況を細かに記録に残すことを徹底している。	本人・家族と話し合い、希望にそった介護計画を作成している。コロナの為、今までできなかった外出支援を多く計画の中に取り入れ実践している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の利用者の状態を日誌に記録することを徹底している。それに対しての申し送りが徹底しスタッフ全員が把握、理解し日々の介護に生かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様のニーズに応じた必要なサービスを柔軟に提供している。例えば病院受診、家族宿泊など可能にしています		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	通いなれた商店街に散歩や買物に出かけたり地域のお祭りに参加することで思い出を引き出すことで安心して生活がおくれるよう支援を行っています		
30	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回協力病院が訪問を行っている。24時間体制で対応しているため、夜間の対応は安心して行える	全員、24時間対応の協力医療機関(三和クリニック)の医師をかかりつけ医としている。夜間、急変時においても訪問看護師や医師がすぐに対応してくれている。歯科は希望により往診が行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態観察の中で変化があればすぐに訪問看護事業所へ報告し、訪問看護事業所は必要に応じ協力病院に報告し情報交換を行っている。必要時往診や受診にも対応している		
32	(15)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際利用者が安心して適切な医療を受けられるよう相談員、看護師と情報交換を行っている。随時、医療相談員や看護師との情報交換を行い退院がスムーズに行えるよう支援を行っている	コロナ禍で入院の際など制限が多くあり、電話でのやり取りや受付での対応などあったが、協力病院の紹介状によりスムーズに入院はできている。入院中は看護師から様子を聞いている。なるべく早く退院できるように、入院先と連携して支援にあたっている。	
33	(16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化指針やターミナル支援の同意書を取り交わしている。状態の悪化や終末期には主治医より家族様に病状説明を行い家族様と今後の方向性を決断できるよう支援を行っている	入居時に重度化指針やターミナル支援について説明し、同意を得ている。重度化した場合は再度意向について話し合い、方針を共有し、支援している。看取りの間は家族の面会、宿泊が可能となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急時のマニュアルを作成している。常に見られるようにしている。また、それについての勉強会も行っている		
35	(17)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間も想定も含め、年二回消防訓練行っています。利用者様も参加し実施している。	BCP(事業継続計画)に基づき、年2回、災害に対するの勉強会と訓練を行っている。その他、年2回、昼・夜を想定して消防訓練を行っている。地域との協力は今後運営推進会に参加を要請する予定の地域住民の方へ声をかけていくとしている。	津波に対して、1階から2階への垂直避難訓練はしているが、より高層の建物への避難訓練はまだである。今後、地域住民の方の協力を呼びかけながら、避難場所への避難訓練をされる等して、更に災害対策を充実されることを期待します。

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者は人生の大先輩でありお客様だということを徹底して指導している。またスピーチロックを行わないように勉強会を開催している	年に1回接遇の研修がある。また、会議の度に、利用者は人生の大先輩でありお客様であることを伝えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事のお手伝いや家事の手伝いを促す際「よかったらお手伝いしていただけないでしょうか」お伺いしレクリエーションに関してもいくつか用意している。常に利用者の思いや要望を引き出せるよう観察を行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に利用者が合わすのではなく利用者の一日の生活に沿って業務を行っている。利用者の生活リズムを優先し支援できている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回訪問美容に来てもらいカット、カラーを行っている。また利用者と一緒に散歩の際は衣類を一緒に選び買い出しをしている		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けはADLに合わせて役割を行っている。嚥下機能低下のためトミ剤は食品お味が変わらないものを選んでいる	食事の準備や後片付けを職員と一緒にしている。週に2回の食レク(お好み焼きやカレー等)を楽しんでいる。コロナ前から依頼していた出張料理が再開され、お寿司や天ぷら等が提供されている。嚥下食にも対応している。家族やスタッフと外食(レストランや喫茶店)に出掛けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事を委託している業者から成分表をもらい確認しそれに合わせた栄養バランスを調整している。水分も飽きがこないよう数種類準備している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアを行っている。ADLに合わせ職員が介助している。利用者個々に合わせた口腔ケアを協力医院より指導を受けている		

自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄介助の把握に努めるために排泄表をつけることで理解している。利用者一人ひとりの介助時間を設置している	個々の排泄介助の把握に努め、さりげないトイレ誘導と清潔保持を申し合わせている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	極力薬には頼らず飲食物、運動を日課として行うことで便秘予防に努めている		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的に週3回時間曜日を設定しているもその日の利用者の状況に合わせて時間曜日にこだわらず入浴している。また体力面を考慮し回数を決めてます	利用者のその日の状況に合わせて時間や入浴日を決めている。入浴はシャワーやリフト浴を状態により対応している。入浴時は利用者とスタッフの一对一のコミュニケーションの場ともなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転等に注意し薬の変更があればすぐに申し送りし変更を行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理表で管理し、薬の変更あればすぐに申し送りし変更行ってる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家族様から情報収集したりご本人からお話を聞いたりしながら役割や楽しみを見つけて提供してます		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	人込みを避けての短時間の外出しかできていませんが、横のスペースで日光浴等楽しんでいただいています	今までコロナ禍でできなかった外出を希望にそって積極的に行っている。電車に乗って大阪にショッピング行ったり、海遊館にも行かれた方もおられる。また尼崎周辺でもランチを食べに出掛けている。	



自己	三者	項目	自己評価	第三者評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出かける際は職員付添のもと支払能力のある方に関しては見守りのもと自ら支払いを行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様や友人から電話があれば本人と会話していただくよう努めている。手紙が届いた際は返事ができるよう支援しています		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロア内の壁画は季節に合わせたものを利用者と作成し季節感を感じていただいている。天気のいい日はカーテンを開け陽の光が差し込み庭の樹木や草花を見ることができ明るい雰囲気ができている	季節感を感じられる壁画づくりを利用者と一緒に行っている。コミュニケーションを取りやすいような空間造りを行っている。庭でバーベキューをしたり、夏祭りを行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の人間関係を把握し座席の配置を行っている。またテレビやラジカセを流したりリラックスできる空間を作っている		
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人の使い慣れた思い出のあるものを持ってきていただいている。在宅では布団で寝ていた方に対しては床にマットレスを引いたり絨毯をひき本人の生活空間を作っている	居室の洗面台はあまり使用されていない。家族の協力の下、馴染みのあるレイアウトになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立して歩行ができるよう手すりを設置しドアも開け閉めしやすいスライド式になっている。またトイレのスイッチは押し型のため利用者につける、消すを行っていただいている。水道も自動で手をかざすと出るようになっている		

## 基本情報

事業所番号	2893000261
法人名	株式会社ほのぼの
事業所名	グループホームほのぼの
所在地	尼崎市神田南通2-50 06-6430-0117


【情報提供票より】令和 5年 7月 5日事業所記入

### (1)組織概要

開設年月日	平成22年2月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤7人 非常勤6人 常勤換算11名	

### (2)建物概要

建物構造	鉄骨造り
	2階建ての1~2階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	93,000 円	その他の経費(日額)	円
敷 金	100,000円		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無し	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	250 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 150 円
	または1日当たり 1300円		

### (4)利用者の概要( 7月 5日現在)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	6 名		
要介護5	3 名	要支援2			
年齢	平均 88 歳	最低 79 歳	最高 97 歳		

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団祐和会三和クリニック・滝内歯科医院
---------	-------------------------

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	参加者の減少 民生委員への呼びかけができていない	家族様の参加が増え民生委員の方にも参加いただく	曜日の設定を変更し家族様が参加しやすい日を検討するとともに地域包括の方に相談し民生委員の方の参加も呼び掛けていく	12ヶ月
2	35 (17)	実際に避難指定の場所まで行く訓練ができていない 地域住民の参加呼びかけができていない	実際の状況を想定し地域住民と協力し動ける訓練を行う	実際に災害が起こったことを想定した上で訓練できるよう地域住民にも参加可能な日程を相談し実際の避難場所まで行く訓練が行える日程を調整する	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。